

平和を願って

喜名小学校 五年三組 親泊 日和

人の命をうばい、人を悲しませ苦しめる戦争。それが今でもどこかで続いている。そう思うだけで心がふるえる。そして、こわい。戦争では、たくさんの人々が亡くなり、その家族や友達がそのたびに悲しむ。それをどうして続けられるのだろうか。とても不思議だ。

その頃の小さな子どもは、とてもこわくて泣きさけんでいただろう。私が、その頃、その場にいたら泣きさけび同じ状態だったと思う。そんな状態にあなたはたえきれただろうか。そんな中、おじいちゃん、おばあちゃん、ひいおじいちゃん、ひいおばあちゃんは、生きぬいてきている。その命が今ここにあって私達は、生きているのだ。そんな事を戦争は知らないと思う。

人々は、

「明日は、あるのか、ないのかどうなんだ。」
と、いつも思っていただろう。明日は、ある
かないのかまったく知らない日をあなたは、
信じられるだろうか。私は、信じられなくて
毎日がこわくてたえきれないと思う。

私は、今でも戦争の話を知ると、こわくて、
泣きそうになり、たえきれない。

いやだと思うことは、はつきり、
「いや。」

と、言えるはず。だが戦争の時は、兵隊にし
たがわらないで、

「いや。」
と、言えば殺される。でも、今は大丈夫。今
なら普通に言える。私は、そんな自由な世界
がいい。

私達は、今、幸せだ。そんな幸せな国に生
まれてきて本当にうれしい。そんな幸せで、
争いのない国、世界をずっと続けていくには、
今、家族の事や友達の事、みんなの事、生き
物を思いやり、助け合っていていく事だと私は思

う。そうすると、いつもが楽しくなる。
どうか、いつまでも平和な世界である事を願
って生きていき、家族や友達や命を大切にし、
いつも笑っていたいです。